

後期学校評価アンケート結果

令和3年度
京都市立京都京北小中学校
校長 松本 和文

早春の候、平素は本校の教育活動にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。保護者の皆様にはお忙しい中、今年度2回目の学校評価アンケートにご協力いただき誠にありがとうございました。アンケートにつきましては、集計し、分析を行い、その一部をまとめましたのでご覧ください。今回、自由記述等、紙面に載せていない内容についても、今後の教育活動に生かしていきたいと思っております。よろしくお願ひいたします。

○学校教育目標

ふるさとの伝統と文化を受け継ぎ、誇りに思い、
自らの志を高め、未来に向けて大いに学び育つ子どもの育成
～言語能力と地域創生力を伸ばす～

○めざす生徒像

知：9年間の連続した学びに支えられた確かな知識を活用し、探究心を持って問題解決に向けて主体的に取り組む事が出来る生徒。
心：ふるさと京北を愛し、豊かな人間性・市民性・自尊感情を有し、周りの人との関係やコミュニケーションを大切に出来る生徒。
体：自らの心身の健康を育む意欲を持ち、安全や体力の向上に対し、生涯に渡ってそれを実践することが出来る生徒。

◎グラフについて

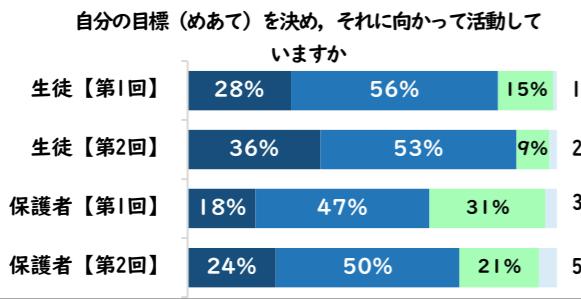
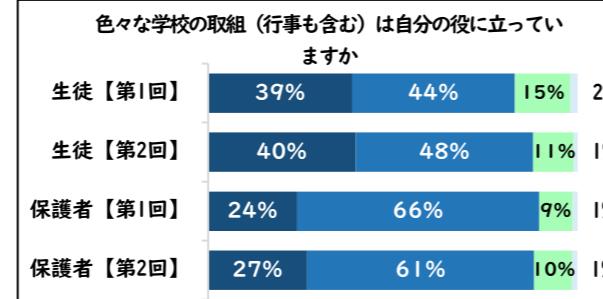
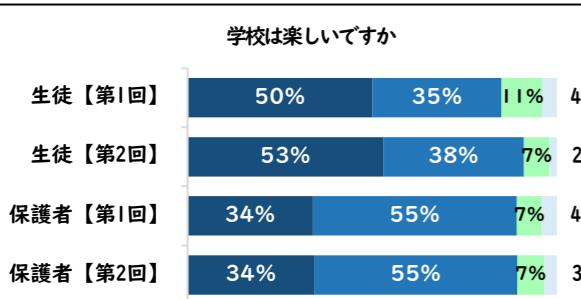
そう思う、

大体そう思う、

あまりそう思わない、

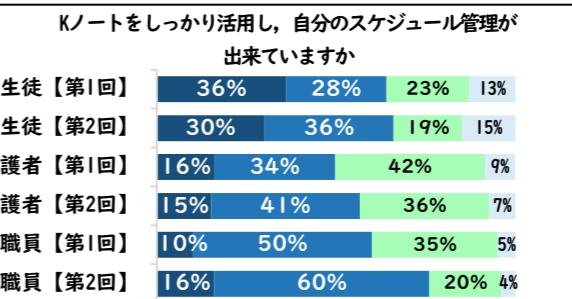
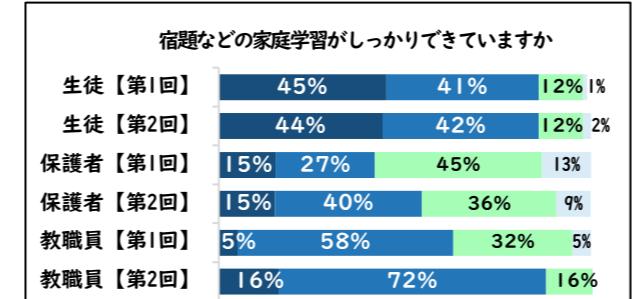
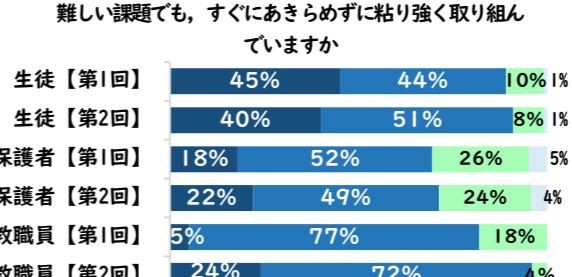
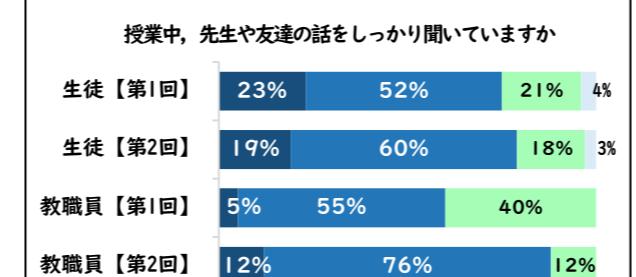
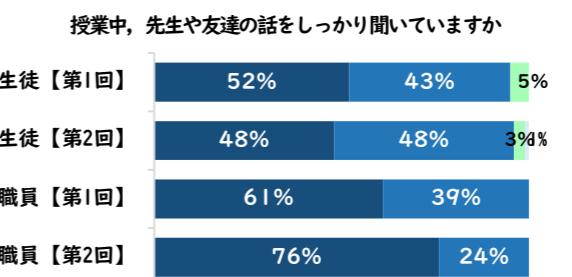
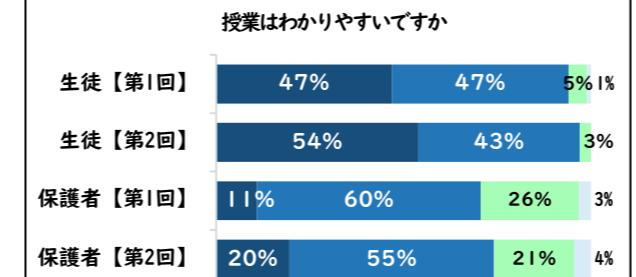
そう思わない

学校全体について



- 前回と同様に「学校は楽しいですか」と「色々な学校の取組は自分の役に立っていますか」の項目では、生徒・保護者ともに9割近くが「そう思う」「大体そう思う」と回答しています。また、「自分の目標を決め、それに向かって活動していますか」の項目では、生徒・保護者ともに、「そう思う」「大体そう思う」の回答が、前回より上回る結果となりました。コロナ禍で、色々と活動が制限される中ではありました、友だちといっしょに、行事や様々な取組を経験することで、学校生活を充実して過ごすことができていると考えます。
- 学校では、生徒一人一人の課題に寄り添うため、担任をはじめ、学年の先生や校長や教頭も含めた面談を行っています。些細なことでも結構ですので学校に相談いただき、学校とご家庭と一緒に生徒の課題や困りに寄り添い、連携しながら生徒の成長を見守っていきたいと考えております。

確かな学力の育成について

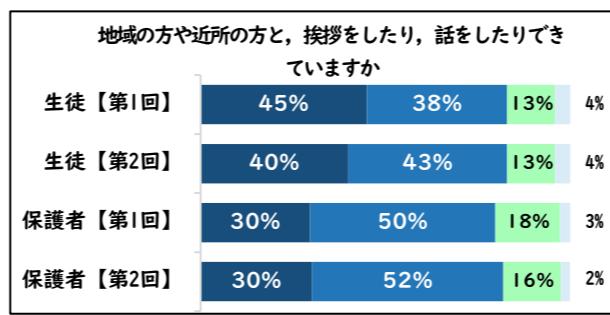
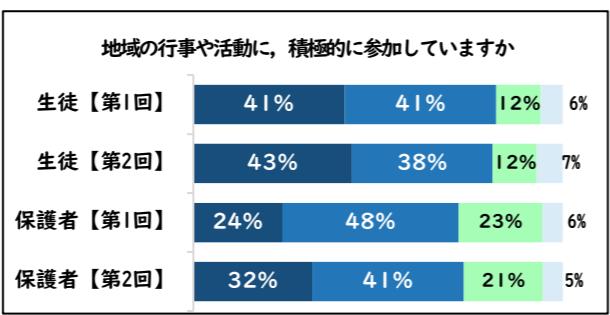
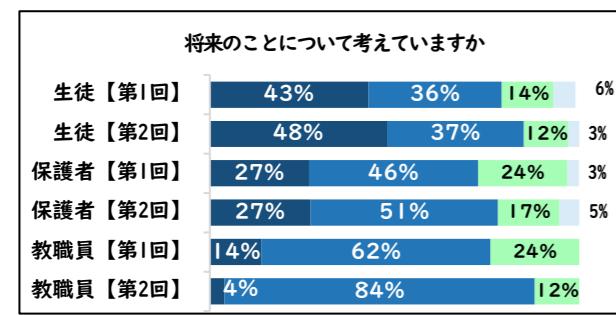
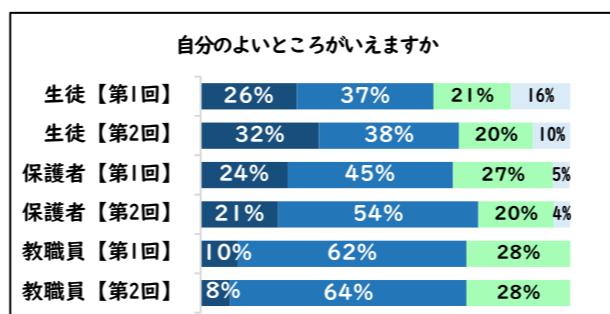
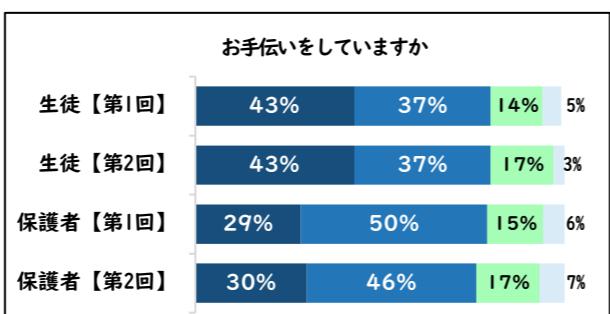
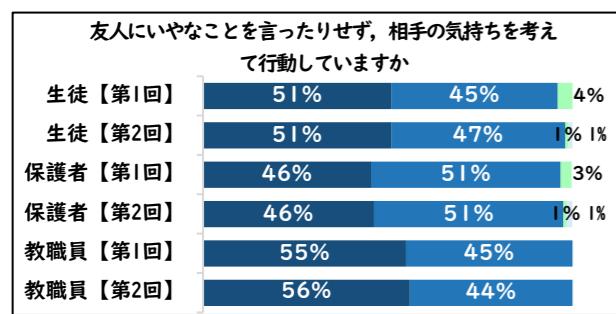
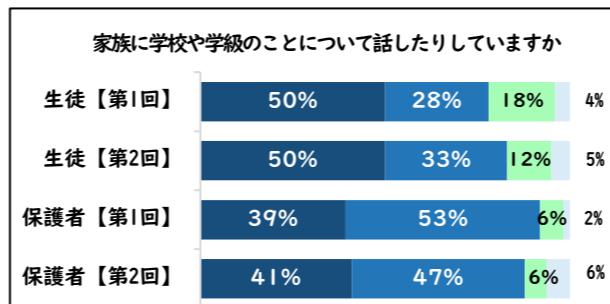
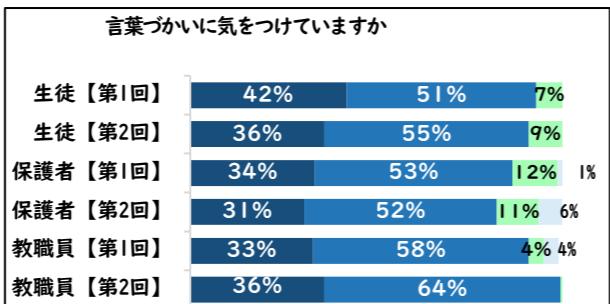
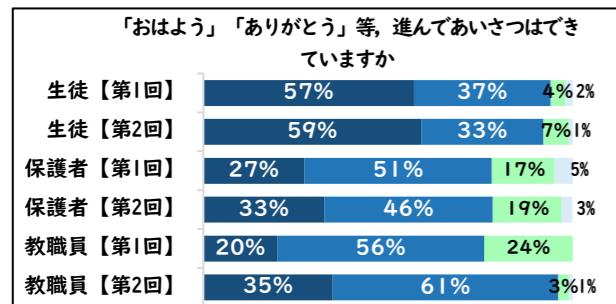


- 昨年度からの課題である「宿題などの家庭学習がしっかりできていますか」と「Kノートをしっかり活用し、自分のスケジュール管理が出来ていますか」の項目では、前回より少し上回る結果でした。各ご家庭でお子さんに働きかけてくださいったり、学校で指導したりしたことで少しづつではありますがよい方向に向かっていると思います。引き続き、学校でも意欲を育てるような授業づくりを進めていきますので、ご家庭でも励ましの声かけをしていただきますようお願いいたします。



・前回と比べ、「授業は分かりやすいですか」と「授業中、先生や友達の話をしっかりと聞いていますか」と「授業などで自分の意見を周囲にわかりやすく伝えていますか」の項目では、生徒・保護者・教職員とともに「そう思う」「大体そう思う」の回答が増えています。特に、「授業などで自分の意見を周囲にわかりやすく伝えていますか」の項目から、本校で重点を当てて取り組んでいる言語能力の育成の成果が少しずつ出てきたのではないかと考えます。自分の考えをアウトプットすることで、さらに考えを深めることができ、そのことが「わかった」に繋がっていきます。引き続き、生徒が自分の考えを発表し、内容について深く理解できるような授業づくりを目指していきたいと思います。

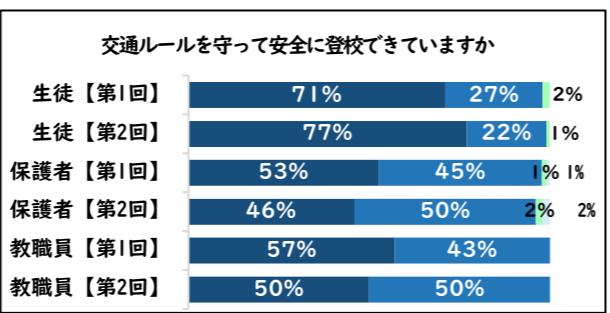
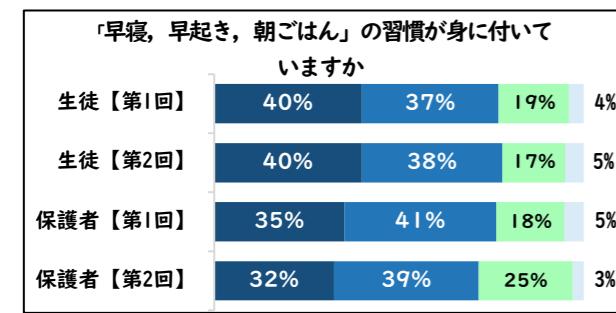
豊かな心の育成について



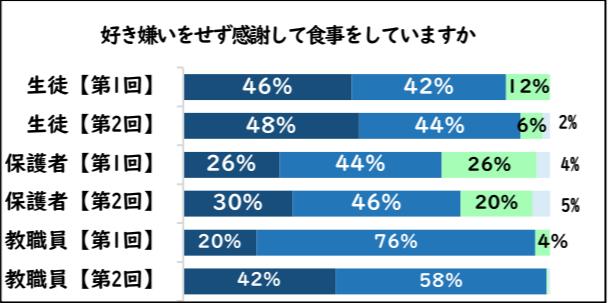
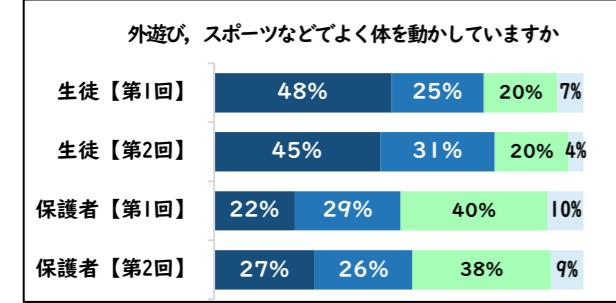
・「困ったことがあったときは先生に相談していますか」の項目では、生徒の結果が前回よりも「そう思う」と回答した生徒が3%増えています。学校では、担任と生徒一人一人が話をする「あのねタイム」という時間を年に2回設けています。このような取組や毎日の生徒とのかかわりを通して、少しずつ生徒との信頼関係を築くことができていると考えています。しかし、17%の生徒が「あまりそう思わない」「そう思わない」と回答しています。生徒が一人で悩み、困りを抱えることのないように、学校生活では、普段のかかわりや声かけを今まで以上に大切にしています。そして、些細な変化も見落とすことのないよう、「あのねタイム」や休み時間・放課後のふれあいも充実させ、これまで以上に信頼関係を深めていくことを目指していきたいです。また、担任以外の教職員も様々な場面での子どもたちとのかかわりを大切にし、信頼関係を築けるように努力していきたいと思います。学校・家庭・地域が一体となって子どもたちを見守ることができるよう連携・協力を進めていきたいと考えています。



健やかな体の育成について



・前回の結果に引き続き、「早寝、早起き、朝ごはんの習慣が身に付いていますか」の項目で3割近くの生徒・保護者が「あまりそう思わない」「そう思わない」と回答しています。睡眠は、脳や身体の成長にとって重要です。また、勉強したり友だちと遊んだり、学校生活を元気に過ごすためにとても大切なものです。学校では、生徒自身が自分の健康と向き合い、自ら行動できるように指導していくきます。ご家庭でも子どもたちと話し合って生活の約束を決めたり、早寝・早起きをするように声かけをしていただいたらしくて、子どもたちが健康に気を付けた生活ができるようご協力をお願いいたします。



学校運営協議会より

- ・コロナ禍という厳しい状況の中、子どもたちを学校全体で支えて頂いていることに感謝しています。地域も学校と協力し、一緒に生徒を見守っていきたい。
- ・リモート授業やタブレット学習を先進的に進めて頂いていることが素晴らしいことだと思います。普段の授業に加えてリモート授業の大変さもある中、色々とご準備等に力を注いでいただき有難いです。
- ・学校・家庭・地域が互いの困りを抱えずに出し合い、それを互いに支え合える関係をこれからもつくっていきたい。